

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

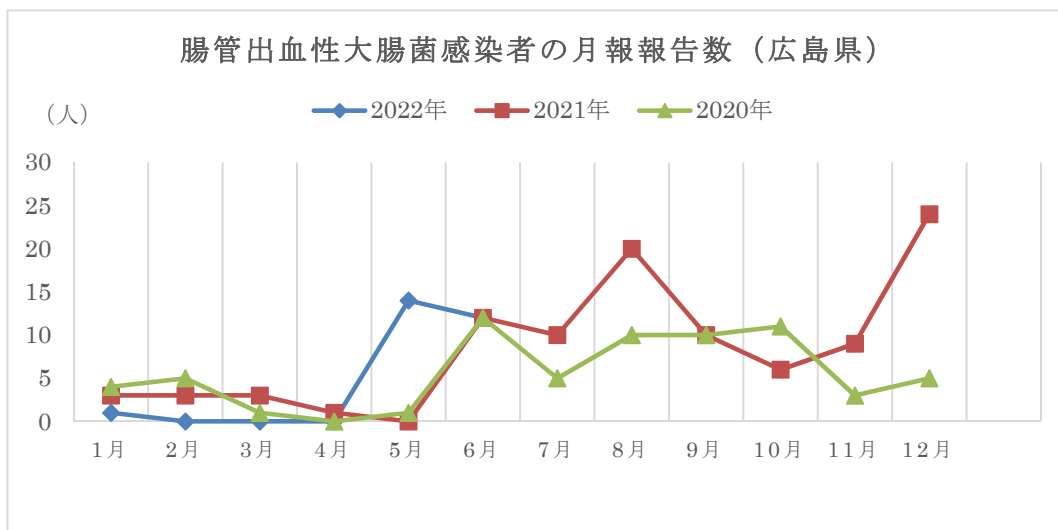
(令和4年7月解析分)

1 今月のトピックス

■ 腸管出血性大腸菌感染症が増加しています！

病原体	腸管出血性大腸菌 O157, O26, O111, O103 など (ベロ毒素をつくるもの)
症状	<ul style="list-style-type: none"> 腸管出血性大腸菌は、症状がないものから、腹痛や下痢を伴うもの、血便を伴うもの、さらに、重症化して溶血性尿毒症症候群 (HUS) を発症する場合など、症状は様々です。 多くの場合、3～8日の潜伏期間の後に、頻回の水様性下痢で発病し、激しい腹痛、血便を伴います。 子どもや高齢者は重症化しやすいので、特に注意が必要です。

- O157 をはじめとする腸管出血性大腸菌による感染症は、例年6月～10月にかけて多くの患者が報告されています。
- 今季は、腸管出血性大腸菌の県内の報告患者数が5月から増加しており、これから発生が多い時期が続くことから、引き続き注意が必要です。



- 腸管出血性大腸菌は、飲食物を介する経口感染がほとんどで、菌に汚染された飲食物を摂取することで感染します。少量の菌数 (100 個程度) でも感染が成立するほど、感染力が非常に強いいため、患者や保菌者の便からの二次感染もしばしば起こります。
- 腸管出血性大腸菌感染症を予防するには、食中毒予防の基本 (菌をつけない、菌を増やさない、菌を殺す) を守りましょう。食品は、中心温度を75℃以上で1分以上、十分加熱調理してください。焼肉などの時は、取り箸やトングは、生肉用と食事用は使い分けてください。
- また保育施設等における集団感染事例も発生しており、その予防には、手洗いの励行が基本です。特に食事前やトイレ後の手洗いは徹底してください。手指衛生のためにアルコール性の擦式消毒剤を追加使用するのも有効です。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和4年6月分(令和4年6月6日~令和4年7月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	0	0.00	0.14		10	ヘルパンギーナ	41	0.14	0.17	↑
2	RSウイルス感染症	142	0.49	0.38	↑	11	流行性耳下腺炎	7	0.02	0.20	↘
3	咽頭結膜熱	160	0.56	0.63	↗	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	0.24	1.71	↗	13	流行性角結膜炎	24	0.32	0.67	→
5	感染性胃腸炎	1,686	5.85	5.09	↗	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	9	0.03	0.18	↘	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	193	0.67	0.83	↑	16	マイコプラズマ肺炎	1	0.01	0.04	
8	伝染性紅斑	2	0.01	0.10		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	90	0.31	0.38	↘	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.58	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和4年6月分(6月1日~6月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	69	3.00	2.72	→	23	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	83	3.95	2.94	↗
20	性器ヘルペスウイルス感染症	21	0.91	0.82	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.21	
21	尖圭コンジローマ	12	0.52	0.64	↘	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
22	淋菌感染症	35	1.52	0.95	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)
 ※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	RSウイルス感染症	(0.10 → 0.49)
	手足口病	(0.18 → 0.67)
○急減疾患	ヘルパンギーナ	(0.03 → 0.14)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~11	12, 13	19~22	14~18, 23~25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	46	結核(46)〔広島市保健所(14),呉市保健所(5),福山市保健所(8),西部保健所(8),東部保健所(6),西部東保健所(2),北部保健所(3)〕
三類	12	腸管出血性大腸菌感染症(12)〔広島市保健所(7),福山市保健所(1),西部保健所(4)〕
四類	19	E型肝炎(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕
		マラリア(1)〔広島市保健所(1)〕
		レジオネラ症(6)〔広島市保健所(2),福山市保健所(1),西部保健所(1),東部保健所(1),北部保健所(1)〕
		重症熱性血小板減少症候群(1)〔東部保健所(1)〕
		日本紅斑熱(9)〔広島市保健所(1),呉市保健所(2),福山市保健所(1),東部保健所(5)〕
五類	58	アメーバ赤痢(1)〔東部保健所(1)〕
		ウイルス性肝炎(3)〔広島市保健所(3)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症(6)〔呉市保健所(1),西部東保健所(2),北部保健所(3)〕
		クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所(1)〕
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(4)〔広島市保健所(2),呉市保健所(1),西部保健所(1)〕
		後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所(1),福山市保健所(1)〕
		侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔広島市保健所(1),北部保健所(2)〕
		梅毒(35)〔広島市保健所(28),福山市保健所(4),呉市保健所(1),西部保健所(1),東部保健所(1)〕
新型インフルエンザ等感染症	11,695	新型コロナウイルス感染症(11,695)〔広島市保健所(6,272),福山市保健所(1,244),呉市保健所(1,025),西部保健所(1,354),西部東保健所(1,110),東部保健所(630),北部保健所(60)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2022年6月30日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
二類	結核	16	22	27	17	25	46							153
	小 計	16	22	27	17	25	46	0	0	0	0	0	0	153
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	0	0	0	14	12							27
	腸チフス	0	0	0	0	1	0							1
	小 計	1	0	0	0	15	12	0	0	0	0	0	0	28
四類	E型肝炎	0	1	0	0	0	2							3
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0							0
	つつが虫病	2	0	0	1	1	0							4
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	1	3	1							5
	日本紅斑熱	1	0	0	4	11	9							25
	日本脳炎	0	1	0	0	0	0							1
	マラリア	0	0	0	0	0	1							1
	レジオネラ症	3	3	1	4	12	6							29
	小 計	6	5	1	10	27	19	0	0	0	0	0	0	68
五類全数	アメーバ赤痢	0	0	0	0	2	1							3
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)	0	0	0	1	0	3							4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	3	0	5	3	6							19
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	1	0							1
	急性脳炎	1	1	1	0	1	0							4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1	0	0	1	1							5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	0	0	0	0							2
	後天性免疫不全症候群	1	0	1	0	2	2							6
	ジアルジア症	0	1	0	0	0	0							1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	1	0	0							1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	0	1	0	3							5
	水痘(入院例)	0	2	1	1	1	0							5
	破傷風	1	1	1	0	0	0							3
	梅毒	32	26	28	36	47	35							204
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	2	1	1	0	4							10
	百日咳	3	1	0	1	0	3							8
	風しん	0	0	0	0	0	0							0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0							0
	小 計	45	40	33	47	58	58	0	0	0	0	0	0	281
合 計		68	67	61	74	125	135	0	0	0	0	0	0	530

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

- 一類： エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
- 二類： 急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
- 三類： コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
- 四類： E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q熱、狂犬病、コクシオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
- 五類全数： アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和4年6月1日～7月21日

資料作成：令和4年7月22日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
1450	1480	285	1187	8

2 新型コロナウイルス等感染症検査実績

診断名	検査結果	検出ウイルス名	対象者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
新型コロナウイルス感染症疑い <small>検体数 1387件(鼻咽頭184, 鼻腔214, 唾液989) 対象者数 1376人(患者接触者調査, 確認検査等)</small>	陽性	(SARS-CoV-2)	238	238	鼻咽頭, 鼻腔, 唾液	R4. 6月～7月	0～100代	西部, 西部(広島), 西部(呉), 西部東, 東部, 東部(福山), 北部
	陰性	(SARS-CoV-2)	1144	1149	鼻咽頭, 鼻腔, 唾液		0～100代	

3 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)疑い	SFTSウイルス	2	2	血液	R4. 6月, 7月	50代, 60代	東部, 呉市
つつが虫病疑い	日本紅斑熱リケッチャ	1	2	血液, 痂皮	R4. 7月	80代	西部
日本紅斑熱疑い	日本紅斑熱リケッチャ	10	18	血液, 痂皮, 皮膚組織	R4. 6月～7月	60代～90代	東部, 東部(福山), 呉市
ダニ類媒介感染症疑い	日本紅斑熱リケッチャ	1	1	血液	R4. 7月	80代	福山市

4 五類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
咽頭結膜熱	A型肝炎ウイルス1型 + ライウイルス	1	1	咽頭	R4. 6月	1	西部東
	A型肝炎ウイルス2型	2	2	咽頭	R4. 6月	1, 5	西部東
感染性胃腸炎	サボウイルス	2	2	便	R4. 6月	0, 2	西部東
	A型肝炎ウイルス41型	1	1	便	R4. 6月	1	西部東
手足口病	エンテロウイルスNT	2	2	鼻咽頭	R4. 7月	1, 2	北部
	エンテロウイルスNT + A型肝炎ウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R4. 7月	1	北部
	コクサッキーウイルスA6型	1	1	咽頭	R4. 7月	2	北部
ヘルパンギーナ	コクサッキーウイルスA6型	2	2	咽頭	R4. 6月	0, 3	西部東
突発性発疹	エンテロウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R4. 7月	1	北部
無菌性髄膜炎	ヒトヘルペスウイルス6型	1	1	血液	R4. 6月	7	東部

5 その他の疾患からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
上気道炎	パラインフルエンザ1型	1	1	咽頭	R4. 6月	3	東部
	アデノウイルス2型	1	1	咽頭	R4. 6月	1	西部東
下気道炎	ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R4. 6月	1	西部東
発疹	エンテロウイルスNT + アデノウイルスNT	2	2	鼻咽頭, 咽頭	R4. 7月	1	北部
	コクサッキーウイルスA6型	1	1	咽頭	R4. 7月	1	北部
	ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R4. 7月	0, 1	北部
	ヒトヘルペスウイルス7型	1	1	咽頭	R4. 7月	10	北部

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報 (ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

6 保健所別検査依頼受付状況 (検体採取期間：令和4年6月1日～7月21日)

保健所地区	検体数	疾患名 (検体数)
西部	263	新型コロナウイルス感染症(260), 麻疹類媒介感染症(3)
西部(広島)	388	新型コロナウイルス感染症(388)
西部(呉)	78	新型コロナウイルス感染症(78)
西部東	38	新型コロナウイルス感染症(13), 咽頭結膜熱(4), 感染性胃腸炎(9), ヘルパンギーナ(3), RSウイルス感染症(1), 上気道炎(5), 下気道炎(3)
東部	252	新型コロナウイルス感染症(224), 麻疹類媒介感染症(24), 無菌性髄膜炎(3), 上気道炎(1)
東部(福山)	315	新型コロナウイルス感染症(313), 麻疹類媒介感染症(2)
北部	129	新型コロナウイルス感染症(111), 麻疹類媒介感染症(5), 手足口病(4), 突発性発疹(1), 発熱(1), 発疹(7)
福山市	7	麻疹類媒介感染症(5), 発熱(2)
呉市	10	麻疹類媒介感染症(10)